

2022年度 認定 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業方針

1、基本方針

2022 キーワード <新しい支援の活用> <社会的インパクト> <組織基盤強化>

「18歳成人年齢引き下げ」、「18歳上限を無くす児童福祉法改正」など、自立支援、退所後支援に関わる環境が大きく変わりつつあります。奨学金制度を始め、社会的養護出身者の生活を支える様々な支援制度ができてきました。今後は、それらをいかに活かし、定着させていく支援ができるかが支援者側に求められます。

組織運営においては、拡大する支援ニーズに対応するための人材確保、育成、そのための財政基盤強化が欠かせません。人材、資金を集めるためには B4S の活動がいかに社会に貢献しているかを示す「社会的インパクト」の可視化が求められています。引き続き、組織基盤を強化する取り組みを進めます。

2、トピックス

■江戸川区児童相談所 行政受託開始

東京都では、区管轄の児童相談所設置が進んでいます。江戸川区は 2020 年 4 月に児童相談所を開設しています。児童福祉事業は行政区によって制度の違いがあり、B4S がもともと事業を受託している東京都はさらに独自色が強い傾向がありました。そのため、江戸川区からアフターケア事業を受託する上では、既存の受託内容との整理が必要になります。

また、これまでにない新しい受託事業として、江戸川区から児童相談所職員向けの研修管理業務を請け負うこととなりました。虐待相談件数の増加に伴い、児相職員の増員、育成が求められています。区が企画実施する研修はもとより、外部の研修事業にも職員を参加させるため、研修の案内、運営、出欠管理などの業務が担当職員の負担となっていました。B4S はこの事業を受託することで、児童相談所職員の負担軽減、業務効率化に貢献してまいります。

■アフターケア担当施設職員 全国オンライン勉強会

「他施設の支援の実例をもっと知りたい」という多くの声を受け、今年度は施設職員向けのオンライン勉強会を実施します。各回のテーマに基づく 1 施設の事例発表を聞いたあと、グループに分かれて意見交換を行い、さらにそれを全員で共有するという、全員参加型の勉強会

です。オンライン開催の強みを生かし、北海道から沖縄まで全国の児童養護施設に参加を呼びかけます。今年度は月 1 回/計 11 回の実施を予定しています。

勉強会の内容はアーカイブ記事としてまとめて、施設との情報共有ツールでもある kintone 上で公開します。各施設内での共有に役立てていただくとともに、有益な情報の蓄積を図ります。

■ファンドレイジング体制の構築とPDCAの実践

子どもへの支援活動に重点を置かれがちな B4S では、中長期をみすえたファンドレイジング戦略立案、実行が大きな課題です。支援ニーズの拡大に組織体制が追いついておらず、特に活動を支える事務局スタッフの補充、増員、定着には、給与水準の向上など勤務環境の改善、財政基盤強化が不可欠です。

B4S ボランティアと共に、広報ファンドレイジングに関わるプロジェクトチームを発足させました。チームには、事務局 7 名とボランティア 9 名が参加し、戦略立案を行いました。今年度は、「Web コンテンツ」、「寄付者コミュニケーション」、「外部 Web サイト」「企業アプローチ」「イベント」「データ分析検証」の 6 つのチームに分かれ、それぞれの施策を実行に移してまいります。

事務局、ボランティアという立場の違いを超え、子どもたちへの支援活動を力強く行う組織を目指します。